

兵庫県次世代産業雇用創造プロジェクト推進協議会 [第2回総会] 議 事 要 旨

I 日 時：平成29年3月23日（木）11：00～12：00

II 場 所：兵庫県民会館 11階パルテホール

III 出席者

別紙1のとおり

IV 議 事

- 1 兵庫県次世代産業雇用創造プロジェクト推進協議会規約の改定
- 2 平成28年度 プロジェクト取組状況
- 3 平成29年度 プロジェクト事業実施スケジュール
- 4 地域経済活性化支援機構（REVIC）の事業

V 主な内容

- 1 開会
- 2 兵庫県産業労働部長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 事務局資料説明
事務局から議事1、2、3、4について資料をもとに説明
 - (2) 意見交換
別紙2のとおり
- 4 閉会

出席者 37 名（構成員 26 名、オブザーバー 2 名、県・推進協議会事務局 9 名）

構成員（26名）

小林 直樹	兵庫県経営者協会総括参与
宮本 要	公益社団法人兵庫工業会専務理事
足立 誠	兵庫県商工会連合会専務理事
深田 修司	兵庫県中小企業団体中央会専務理事
福永 明	日本労働組合総連合会兵庫県連合会事務局長
足達 和則	兵庫県立工業技術センター次長（総括担当）
橋本 芳純	公益財団法人新産業創造研究機構専務理事
藤原 政幸	公益財団法人先端医療振興財団常務理事
山田 猛	一般財団法人近畿高エネルギー加工技術研究所専務理事
雫石 芳男	公益財団法人計算科学振興財団業務運用グループ担当課長
佐々木 久隆	公益財団法人ひょうご産業活性化センター創業推進部取引振興課長
後藤 章暢	公益財団法人神戸国際医療交流財団代表理事
小林 滋	特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構理事
窪田 雅夫	一般財団法人兵庫県雇用開発協会専務理事兼事務局長
太田 勲	兵庫県立大学理事兼副学長兼産学連携・研究推進機構長
小高 裕之	神戸大学学術・産業イノベーション創造本部産学連携・知財部門長教授
小川 賢一	株式会社三井住友銀行公共・金融法人部（神戸）部長
銅金 与父	株式会社三菱東京UFJ銀行大阪公務部長
野村 和輝	株式会社みずほ銀行神戸支店神戸第一部渉外1課課長代理
濱中 宏法	播州信用金庫経営企画部長
三木 伸司	株式会社みなと銀行地域戦略部次長
澤野 年哉	但陽信用金庫事業支援部担当部長
竹中 郁子	兵庫労働局職業安定部長
今西 正男	神戸市理事（医療・新産業担当）
片山 安孝	兵庫県産業労働部長
田中 基康	兵庫県産業労働部政策労働局長

オブザーバー（2名）

武田 美奈子	近畿経済産業局産業人材政策課長
石川 卓弥	株式会社地域経済活性化支援機構執行役員

県・推進協議会事務局（9名）

竹村 英樹	産業労働部産業振興局長
安部 斉	産業労働部政策労働局産業政策課長
守本 豊	〃 産業政策課企画調整参事
山下 裕司	〃 産業政策課政策班長
城 友美子	〃 しごと支援課長
安部 則行	〃 産業振興局工業振興課長
宮口 美範	〃 新産業課長
竹村 公秀	〃 産業立地室長
藤木 亜紀	企画県民部科学情報局科学振興課主幹

議事要旨（意見交換）

○事務局

ただいまから、次世代産業雇用創造プロジェクト推進協議会、平成28年度の第2回総会を開催します。本会議については、昨年度と同様、本県の取り扱いに準じ、公開とします。それでは、開会にあたりまして、推進協議会会長の兵庫県産業労働部長から、ご挨拶を申し上げます。

産業労働部長あいさつ

新規の構成員等の紹介

○事務局

それでは、議事に入りたいと思います。議事の1つ目は、兵庫県次世代産業雇用創造プロジェクト推進協議会規約の改定についてです。資料1に基づき、産業政策課長から説明します。

産業政策課長の説明

○事務局

ただいまの説明について、ご質問・ご意見等はございませんでしょうか。ご質問等がなければ、協議会規約の改定について、ご承認をいただいたこととさせていただきます。

続きまして、議事2の平成28年度プロジェクト取組状況及び議事3の平成29年度プロジェクト事業実施スケジュールをまとめて説明します。資料2の実施結果を中心に各事業所管課室から説明しますが、事業実施主体の皆様から補足や、事業取組に対するご意見等ありましたら、全事業説明後に時間を設けていますので、よろしくお願ひします。

各事業所管課室長の説明

○事務局

以上で全事業について、資料2の実施状況を中心に説明しました。続いて、議事4の地域経済活性化支援機構の事業についてです。地域経済活性化支援機構は、先導的な地域活性化モデルの創造等により、地域経済の活性化に取り組まれている団体で、戦略産業雇用創造プロジェクトとも、目指す方向性を同じくしています。このため、厚生労働省からも積極的に同機構と連携いただきたいとお話を伺っているところです。

つきましては、地域経済活性化支援機構にご出席いただいておりますので、資料4に基づき機構の事業をご説明いただきます。

地域経済活性化支援機構の説明

○事務局

それでは、残りの時間で各事業実施主体の皆様からの補足説明ですとか、事業構想の推進、各事業の取組に対するご意見等をお願いします。

○A委員

意見ということではありませんが、お願いとしまして、この次世代産業雇用創造プロジェクトは、各企業にとっても使いやすく、かなり企業の力になっていると思います。来年度で3年間のプロジェクト期間が終了しますが、次世代産業と一緒に、例えば水素にしろ、航空機にしろ、医療もそうでしょうが、足の長い産業と言いますか、長期的な需要がありますので、それ以降のいろんな取組を今から仕組んでいただいて、次に繋げていくような方向でお願いしたいと思います。

○県産業労働部長

今、ご意見いただきましたが、私どもの最大の関心は、この29年度に現在のプロジェクトが終了して、次の30年度以降をどうするかということであり、29年度中にいろいろと仕込みたいと思っています。各機関に個別に相談させていただき、どういう分野が残っているかとか、こういうことが課題であるとかを是非教えていただきたいと思っています。そうして、県内のとりまとめや神戸市との調整をしつつ、国との折衝をして参ります。この次世代産業の育成が最大の課題であると認識しており、また雇用増を進める必要がありますので、来年度は29年度の事業をお願いすると同時に、片方で、ポスト次世代産業雇用創造プロジェクトをどうやっていくか検討していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

○事務局

貴重なご意見等いただきまして、ありがとうございます。本日のご意見等を踏まえまして、みなさまと連携を密にして、プロジェクトの推進に取り組んでまいります。

これで、本日の議事は全て終了いたしました。それでは、これをもちまして、第2回総会を終了させていただきます。皆様、どうもありがとうございました。